

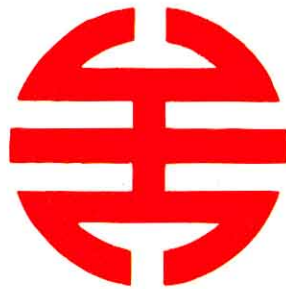
ちょう
町

しょう
章

(町のシンボル・マーク)

矢吹町のシンボル（しるし）として、昭和43年5月1日、町章が定められました。

矢吹の「矢」を図案化したもので、原図は故仲西保蔵こ なかにし やすぞう氏の考案によるものです。



町 章

矢吹町の花と木

町の花は「春蘭」しゅんらんです。春蘭しゅんらんは、町の山地にたくさん野生やせいしています。うすい黄緑色きみどりいろのさわやかなかおりの花を咲かせます。

別名「ほくろ」「爺じと婆ば」「爺婆じじばば」ともよばれ、おめでたい花とされています。町の人々が健康で長生きするようにとの願いもこめられています。

町の木は「赤松」です。あかまつは、わが町の土地にあり、たくさんみられます。五本松の松並木、大池公園のあかまつはとくに有名です。



町の花（しゅんらん）



町の木（あかまつ）